

平成 26 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2014年4月～2015年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表
します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満
たないもの、報告書が2年連続して未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧
告させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 岡山県美作高等学校

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中高一貫教育
 教員養成 技術/職業教育
 特別支援学校 その他 ()

住所 〒 708 - 0004
岡山県津山市山北 500

E-mail : info@mimasaka.ed.jp

Website : URL : http://www.mimasaka.ed.jp/

児童生徒数：男子 319 名 女子 468 名 合計 787 名
 児童・生徒の年齢 15 歳～ 18 歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ()

4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

今年度、本校では「国際理解」「世界寺子屋運動」「伝統文化」をテーマに主に活動を行った。

1. 国際理解： オーストラリア姉妹提携校との交換留学

本校と姉妹提携しているオーストラリアのメルボルン近郊にある Emerald Secondary College (エメラルド高校) 間で短期留学を実施した。9月にオーストラリアから留学生が本校へ来校し、3月に本校の生徒がエメラルド高校へ留学した。

各学校の教員による留学生対象の体験授業を行ったり、生徒が互いにそれぞれの文化を紹介する授業をするなどして異文化交流を行い、理解を深めることが出来た。詳細は以下の通りである。

<オーストラリアから本校への留学>

- ・留学期間：9月12日～28日
- ・参加生徒：13名
- ・プログラム内容：

各留学生は本校の生徒の家にホームステイし、日本の家庭・文化を経験した。学校では、本校教員や部活の生徒が剣道や柔道などの授業を行い、日本の文化に触れてもらった。また、留学生が1年生の総合学習の時間にてオーストラリアの文化を紹介する授業を行い、本校の生徒はオーストラリアのゲームやスポーツを通して異文化理解と交流を深めた。

他にも本校のホストシスター・ブラザーと広島市の平和記念公園と宮島へ一日旅行に出かけ、日本の歴史や平和学習を行った。

<本校からオーストラリアへの留学>

- ・留学期間：(短期留学) 平成27年3月13日～3月29日
- ・参加生徒：13名
- ・プログラム内容：

生徒は日本語の授業を受けている生徒の家へホームステイし、現地の文化や家庭を体験した。日本語の授業の中で、本校の生徒が書道や折り紙、ちぎり絵などの日本の伝統や文化を学ぶ授業をオーストラリアの生徒に対して行い、生徒間の交流を行うと共に、日本の文化を広める活動を行った。

そのほかにも、エメラルド高校の先生による家庭科や美術、オーストラリアの地理やスポーツなどの授業を英語で受講し、オーストラリアについて学んだ。

2. 世界寺子屋運動

<募金活動>

毎年恒例ではあるが、8月に行われる津山の夏祭り「ごんご祭り」にて、世界寺子屋運動の為に募金活動を行った。

募金活動の準備では寺子屋運動はどのような運動なのかを調べ、募金時に活用するポスターを作成し、寺子屋運動への理解を深めた。夏祭り当日、商店街や出店周辺を歩きながら募金活動の協力を呼びかけた。

<義米を育てる活動>

津山ユネスコ協会の方々のご支援のもと稲を植え、収穫した。収穫した米をお金に換え、日本ユネスコ協会へ寄付し、世界で学校に通えない人々のために使用してもらった。

3. 伝統文化継承の手伝い

英田上山で棚田再生プロジェクトに取り組まれている英田上山棚田団の方々と今年度から連携し、田植え、草取り、収穫、棚田の石垣の清掃、荒地復興作業の手伝いを行った。本校の英語ユネスコ部や文化部の生徒達やライセンスコースの生徒たちがこれらの活動に参加した。活動を通じて、日本の良き風景を残すことの素晴らしさや、使われなくなったものを再利用する大切さなどを学び、ESD への理解を深めた。

<具体的な活動>

・ 6月29日：田植え

英語ユネスコ部の生徒たちが手で田植えを行った。

・ 7月16・17日：棚田復興作業

ライセンスコースの生徒たちが、荒地と化した棚田の復興作業にあたった。チェーンソーや草刈り機を使い、木の伐採、運搬、焼却の活動を行った。棚田団の方から棚田を再生させる意味を教えて頂き、地域再生とESDについて学んだ。

・ 8月25日：草抜き

英語ユネスコ部の生徒が草抜きを行った。無農薬で育てているため、田に多くの雑草が生えていた。生えている雑草も昔は食べていた、などの話を聞き、昔の食文化や不要なものが利用できるということを知り、ESDの学びを深めることが出来た。

・ 9月27日：稲刈り

本校の文化部の生徒と津山ロータリークラブの方々と共同で6月に植えた稲を収穫しにいった。鎌を手に、手で丁寧な刈った。刈った稲を干した稲の草でまとめた。また、稲を干すための稲木も生徒たちで組んだ。

・ 12月9日：廃屋・蔵の復元作業

ライセンスコースの生徒たちが竹藪に覆われた廃屋・蔵を復元する作業を行った。使われなくなってしまったものも手を加えることにより、復元・再生することができ、再び使える資源になる、というESDの心を体験でもって学ぶことが出来た。

4. ユネスコスクール世界大会 高校生フォーラムへの参加

H26年11月5～7日で行われたユネスコスクール世界大会 高校生フォーラムに運営スタッフとして参加した。生徒はおもてなし係、受付・案内係、運営係など様々な係に分かれ、それぞれの立場から世界大会の運営に携わった。4月から月に一度準備セミナーに参加し、世界大会の準備にあたった。

この世界大会に携わり、ESDとは何か、ということや慈しみ、思いやる心の大切さを学び、異文化交流、多文化への理解を深めることが出来た。

(2) 活動時間について(下記から選択して下さい。)

- 通常の授業時間を使用(総合的な学習の時間を含む)
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他(考査後の特別講座の授業を使用)